

C チーム「Shining Panda」の発表は、祖母の実体験という身近なエピソードから始まり、高齢者が旅行をあきらめている現状を丁寧に説明できていた。特に印象的だったのは、「自分でネットを使って熱心に調べているのに、一番困っているのが情報集めである」という矛盾の発見で、ただ数を集めるだけでなくデータの裏にある本質を読み取ることができていたと思った。また「AI は使えるのに使われない」という考察から、機能ではなく信頼こそが課題だと定義した流れも良く説得力があったと思う。巣鴨・上野での実際のフィールドワークやシールアンケートを通じた生の声の収集など、現場に足を運んだからこそ得られた発見がある且つ発表時もチーム一丸となっていたので次のシンガポール調査が楽しみになる発表だったと思います。